

東国文化自由研究レポート



研究テーマ

時代と共に変化する馬形埴輪



伊勢崎市立四ツ葉学園中等教育学校

| 年 | 組 22番

氏名 関口 柚宇

(返却希望)

1 調べようと思った動機

このレポートのテーマで「なやんで」いたとき私は群馬の様々な埴輪がのっているホームページを見ました。よく見たことのある埴輪やまったく見たことのないような埴輪まで"思ったよりもたくさんあり、どんどん見ていきました。しかし、あまり興味がわくようなものに出会えずにいました。「どうしたものかな〜。」と見ていたそのとき、私の目を引きつける埴輪を見つけたのです。それが、白藤古墳群から出土した馬形埴輪、通称「ぐんまちゃん埴輪」です。くりくりした目がとってもキュートで1目で"心奪われちゃいました。こんなに可愛い埴輪があるなんて!! 気になって他の馬形埴輪も目撃するとまた衝撃がはしりました。なぜなら目の位置や形などが様々な埴輪があったからです。こんなことから私は、時代によつて馬形埴輪はどのように変わつていっているのか調べてみたくなりました。

2 目的

馬形埴輪の大きさや形の違ひは、その時代とどのような関係があるのかを調べる。

3 調査の方法

- ① 前橋市の粕川歴史民俗資料館に行き「ぐんまちゃん埴輪」を観察する。
- ② ぐんまちゃん埴輪はどこでいつ作られたものなのかを調べて他の馬形埴輪と比較する。
- ③ 比較の結果から、時代の流れによつて馬形埴輪はどのように変化してきたかを調べる。

調査

① 前橋市 粕川歴史民族資料館へ Let's Go!

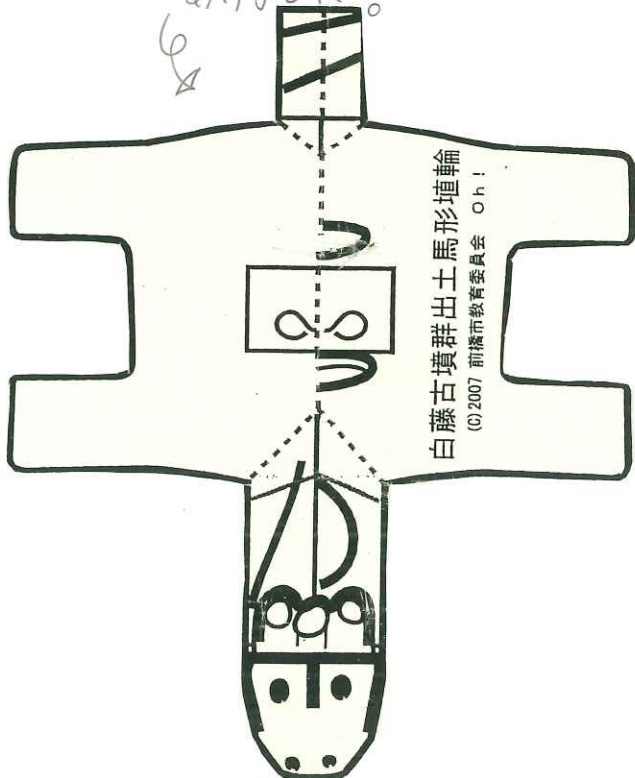
私は 粕川歴史民族資料館に行きました。なぜなら、そこにぐんまちゃん埴輪が展示していると聞いたからです。そしてついに実物のぐんまちゃん埴輪と対面しました！想像よりも、ずっしりしていてずんぐりした感じがたまらなく可愛かったです。



← このおとぼけフェイスが
たまらないですね。

ペーパークラフトも
ありました！

6



粕川歴史民族資料館は、

ぐんまちゃん埴輪の他にも様々な埴輪が
ありました。馬形埴輪はぐんまちゃん埴輪
の他に3種類、展示されていました。



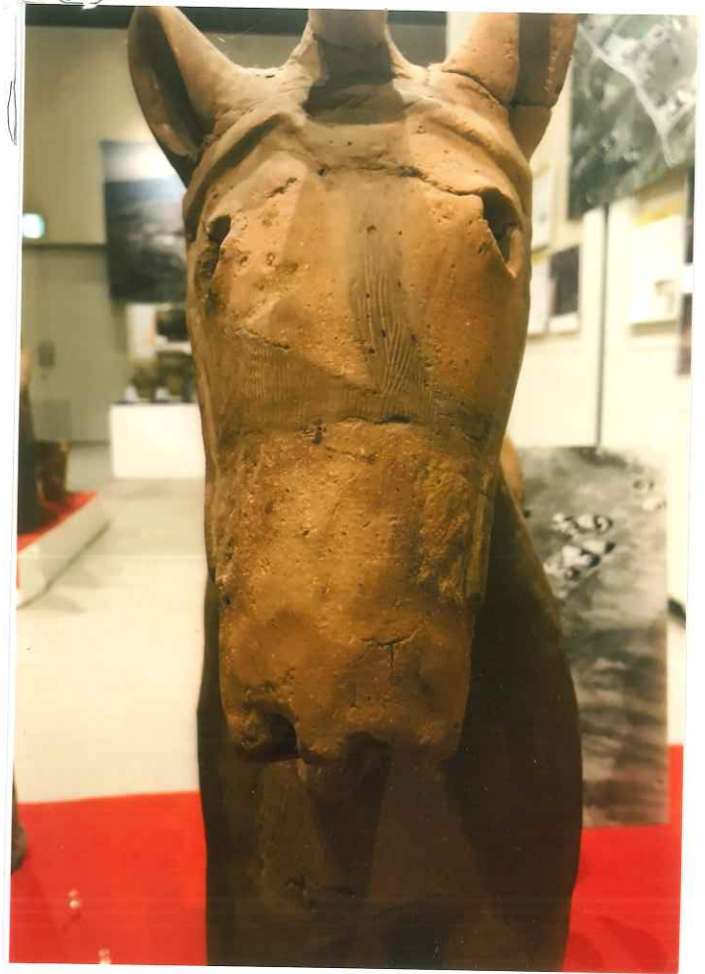
ぐんまちゃん埴輪と展示されていた3つの埴輪

①



にある馬
で、視野を広くするため、鼻を
楕円に付いています。埴輪の馬も
しています。(白藤P-6号墳、
の前面につく埴輪馬がいます

②



③



- ① 馬形埴輪 大きめ! 目の形が横長!
↑ 700cm以上あると思う。
(名称や出土場所の展示がありませんでした)
- ② 馬形埴輪 ①より小さく③より大きい。
70cmぐらいあると思う。
目の形はまん丸に近い。
出土場所 ... 日藤古墳群
時代 ... 6世紀後半
- ③ 馬形埴輪 ②より小さく、「ぐんまちゃん埴輪」より大きい。
60cmぐらい?
目の形は縦長で「ぐんまちゃん埴輪」に近い。
出土場所 ... 近戸古墳群
時代 ... 6世紀前半

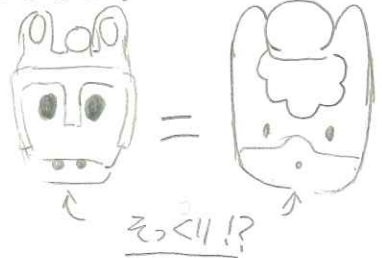
ぐんまちゃん埴輪 基本情報

名称 白藤古墳群出土馬形埴輪

時代 5世紀後半

なぜ「ぐんまちゃん埴輪」と言われているのでしょうか??

A 見れば分かる! ぐんまちゃんにそっくりだからです。



サイズ 左の写真を見ていたら分かる通り、意外にずいぶん大きいサイズです。

鼻から尾の先まで 62.4cm

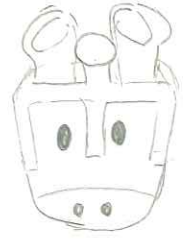
足先から耳まで 50.4cm ですよ!

「ぐんまちゃん埴輪」が見つかった白藤古墳群とは?

A 白藤古墳群は5~6世紀後半にかけて造られ、複数の円墳が密集しているのが特徴です。

他の馬形埴輪と「ぐんまちゃん埴輪」の違い

ぐんまちゃん埴輪



一般的な馬形埴輪

特徴

- ・顔が丸い
- ・目が縦長
- ・目の位置は中心に依っている

- ・顔が縦長
- ・目はまる丸、横長
- ・目の位置は横に依っている

ぐんまちゃん埴輪は「群馬HANI-1グランプリ」で上位常連なのです!

群馬HANI-1グランプリとは...?

群馬の埴輪人気No.1を決めるグランプリです。ぜひ調べてみてください!

○ 時代別馬形埴輪の姿

ここでは箱川歴史民族資料館の馬形埴輪と比較しています。

			
<んまちゃん埴輪	近戸古墳群出土埴輪	白藤古墳群出土埴輪	名前が分からないゆえ、ここでは「大きな馬形埴輪」
時代 5世紀後半	6世紀前半	6世紀後半	予想 6世紀後半〜7世紀前半
目 縦長 中心によっている	縦長 横に近い	まん丸 横についている	縦長 横長 まん中についている
顔 丸い 丸みを帯びている	縦にとっても長い 角は丸みを帯びている	縦長 四角に近い	縦長 りんかとかよりリアル

古い ←

→ 新しい

「大きな馬形埴輪」は、大きさがりんか、目の形が^{より}本物の馬に近かったため、作られた年代は6世紀後半から7世紀前半と予想します。

○ 結論

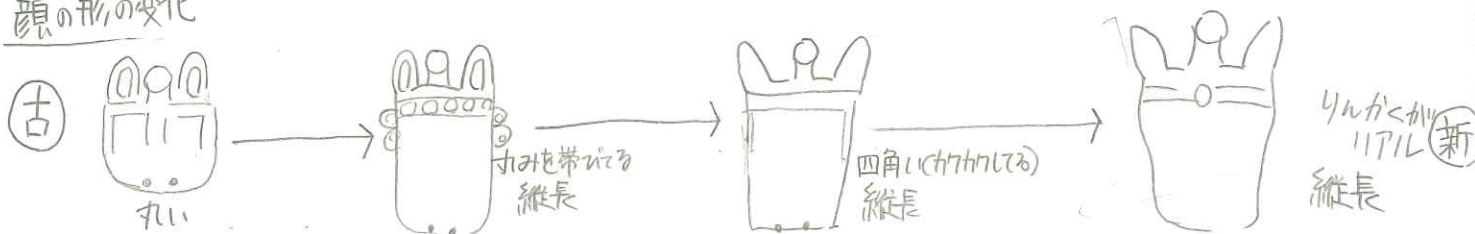
馬形埴輪は、時代が進んでいけば「いくほど」、本物の馬に近いリアルな形になっていく。大きさが目の形など上の表を見れば分かると思います。

↓
このこと、^{んまちゃん}埴輪は「まだ馬についてよく分かっていない状態で作った埴輪だから、あんなにユーモラスな姿になったということですよ。」

目の形の変化



顔の形の変化



◦ 調べてみた感想

馬形埴輪は、作られた時代によって姿形がはっきり違っているところか、おもしろいところかと思いました。今まで埴輪についてあまり興味を持つことができませんでした。今回馬形埴輪について調べてみて、馬形埴輪の奥の深さを知りました。これから、もっとたくさん馬形埴輪に出会いたいです。また、一つおもしろいなと思うところがありました。それが、埴輪の表面のもようです。下の写真は馬形埴輪の表面をとったものです。曲がくジグザグもようが入っています。他人な細かく作られているんだと感心しました。他にも、私のまだ知らない埴輪の魅力を探していきたいと思います。



← 一本一本でいいにかかれた
ジグザグもよう

[参考]

- 地域創生部文化振興課 “もつと埴輪や古墳について学んでみよう!” (2021年2月8日) 心にググると群馬県 <https://www.pref.gunma.jp/03/c42g-00086.html>
- 前橋市教育委員会文化財保護課 嘱託員 小島純一さん 朝日ぐんま “ぐんまちゃん埴輪” 出土の白藤古墳とは? <https://www.asahigunma.com/kyoudonootakara-17/>
- 上毛新聞 “白藤古墳群 発掘から40年 再調査の成果 300点 前橋” <https://www.jomo-news.co.jp/articles/-/164305>